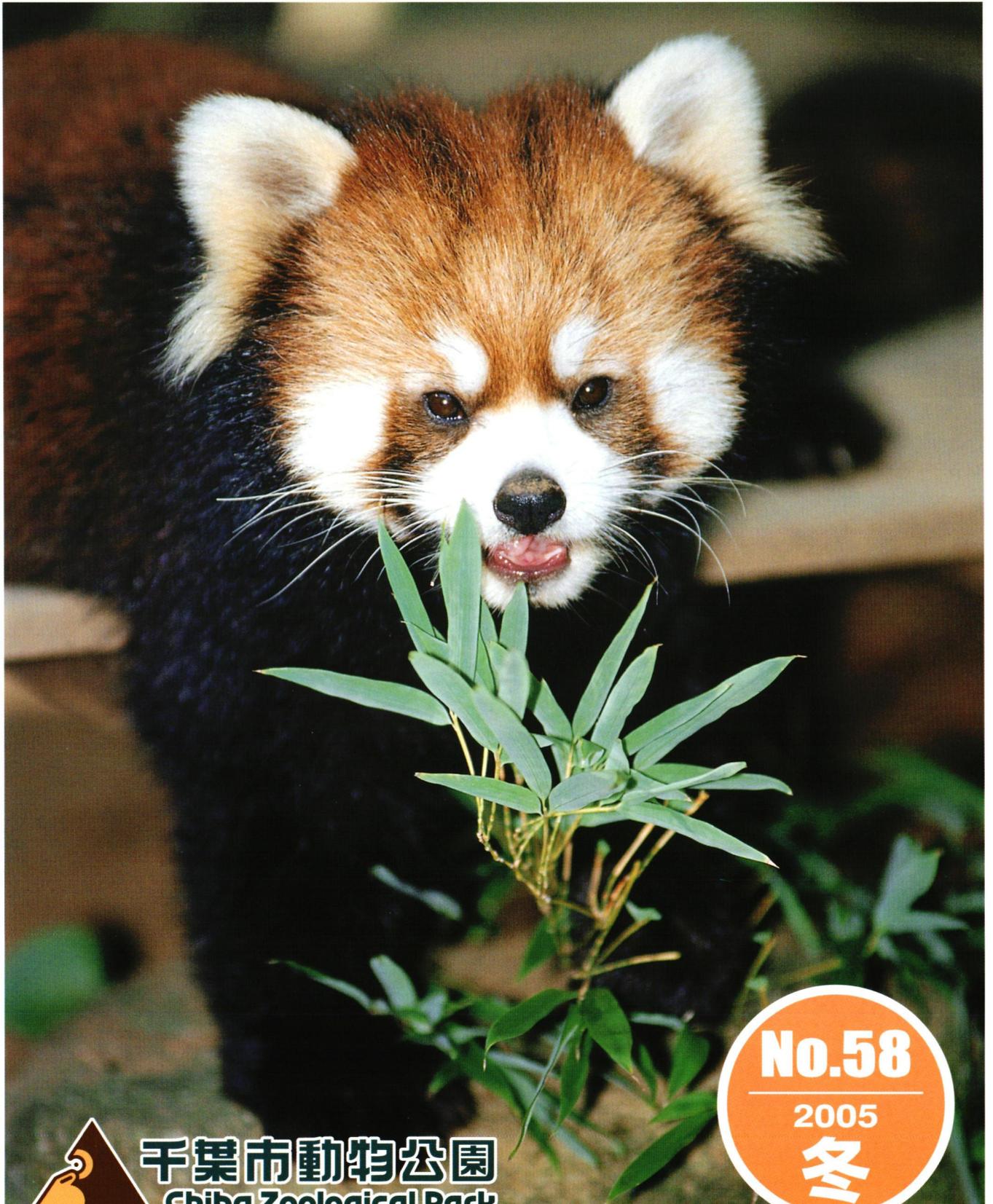


どうぶつどうえんニュース



No.58
2005
冬



千葉県動物公園
Chiba Zoological Park

トピックス

ハシビロコウ



8月に鳥類・水系ゾーンに新しく、雄と雌のハシビロコウが、アフリカからやってきました。

まだ若い個体で、クチバシも羽根も黒っぽい色をしています。

以前からいるハシビロコウとあわせて、これで雄2羽、雌2羽の4羽になりました。

ハシビロコウは、アフリカ中東部のアシヤパピルスの茂る湿地や、その周辺の草原地帯に単独、およびつがいで生息しています。

木靴のような大きなクチバシをもった、全長120センチ、体重5~6キログラム、翼を広げると250センチもある奇妙な鳥です。

野生では、沼地に潜んでいる肺魚やナマズなどをとらえるため、気配をさとられないよう長時間も同じ姿勢でじっと立っていることも珍しくなく、まるで置物と間違えるほど動かない鳥として有名ですが、水辺にあがってくるエサとなる魚の一瞬のすきをついて、確実にとらえるときの動きは、普段のゆっくりとした動作からは想像もできないくらい俊敏です。

見た目にも奇妙で不思議な鳥ハシビロコウを見に、動物公園に遊びにきませんか。

柴海 邦成 (Kunishige Shibakai)

目次

CONTENTS

表紙【レッサーパンダ】	①
トピックス【ハシビロコウ】	②
特集 子ども動物園より(3)	③
特集【JEF】	④
【写真教室】	
【森の音楽会】	⑤
【埴輪づくり】	
動物公園の植物②【ムクゲ】	⑥
飼育よもやま話【シタツガ】	⑥
動物公園日誌から【'05.7/1~'05.9/30】	⑦
裏表紙【ベニイロフラミンゴ】	⑧
Information	⑧

表紙の動物説明 レッサーパンダ

レッサーパンダは、アライグマ科に分類している学者が多いが、最近の研究では、ジャイアントパンダと同じ科に分類すべきであることが示されている。野生下でのエサは、笹やタケノコを中心に、草や根、果実、昆虫、ネズミやトカゲといった小動物、鳥の卵や糞などを食べる。主に夜行性で単独行動をとるが、繁殖期にはつがいになる。糞・尿・肛門腺からの強力な麝香に似た分泌物で、匂い付けをする。原産地は、ネパールから四川省の標高1,500~4,800mの竹林のまじる山地に生息する。当園の風太とチィチィは適齢期を迎え、今後の二世誕生が期待される。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

撮影：宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)

動物飼育数

平成17年10月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31.Oct.2005

哺乳類	67種	421点	両生類	1種	1点
鳥類	74種	276点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	30点	総計	148種	728点



子ども動物園より(3)



今回は、動物たちの一番の楽しみ「食事タイム」を紹介しましょう。

午前10時10分と午後3時50分



フンボルトペンギン

食事前に池の流れに逆らって泳ぎますが、運がよければジャンプをしたり、まるで水中を飛んでいるような姿が見られるよ。

午前11時

リス・チンチラ

両手を使って食べ物を食べる仕草は、思わず「かわいい〜」と思ってしまうことまちがいないよ。



午前11時30分と午後2時



ヤギ・ヒツジ

まるで大家族の食事風景、ヤギとヒツジの早いもん勝ちの草の奪いあいが見られるよ。どちらの時間も草をあげることができるよ。

午前11時50分

カピバラ

世界最大のネズミのカピバラは、大きな体のせいかおとなしい性格でのんびり屋です。隠れファンが多い動物です。



午前11時15分と午後1時30分

ウマ

ペルシュロン「ヤエちゃん」、ドサンパ「ヒメちゃん」、ポニー「ジュリー」の3頭のウマが仲良く？「ポリポリ」とこきみよい音で草を食べる姿が見られるよ。



JEF

9月18日(日)、ジェフユナイテッド千葉のマスコットキャラクター、ジェフィとユニティによる一日園長と一日飼育係を行っていただきました。一日園長をお願いしたジェフィには園内の視察を、ユニティには

ゾウ舎やラクダ舎での飼育作業を行っていただき、その後、動物科学館レクチャールームに会場を移して、前日の試合で決勝ゴールを決めた佐藤選手と坂本選手によるトークショーを開催しましたが、ジェフィとユニティも参加してくれて楽しい時間となりました。

宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)



10月4日(日)、写真家のさとうあきら先生による写真教室が開催されました。今回は新しい試みとして、午前中の教室のあと、聴覚障害をお持ちのかたがたを対象とした教室を午後を開きました。10名ほどの参加者を迎え、カピバラやペンギンを被写体として、実際に撮影しながら行われました。目的にあわせた撮影のしかたなど、具体的なアドバイスがありました。

さとう先生から、次のような感想が寄せられましたのでご紹介いたします。

「始まる前は、お互いのコミュニケーションがスムーズにとれるのか多少の不安はありました。

しかし、手話通訳、要訳筆記の方々がいらっしやれば、まったく問題なく写真教室が行え

ることがわかり、嬉しくなりました。次回は、時間をもう少し長くにとって、参加者皆さんの質問に充分お答えできるようにしたいと思っています。」

さとう あきら (動物・写真家)

並木 美砂子 (Misako Namiki)



写真教室

森の音楽会



動物公園

恒例の春・夏音楽会、今回は秋の部をレストラン横のしばふ広場で開催しました。好天にもめぐまれ、多くの人の耳を楽しませてくれました。大盛況でした。

淑徳大学・吹奏楽部の皆様による演奏。動物にちなんだ曲目、子供たちも、ピョン太（ぬいぐるみ）と一緒に楽しいひとときをすごしたようでした。アンコール！アンコール！で大変なさわぎでした。最後の演奏に「松健サンバ」で始めました。子供たちはリズムに合わせて、上手に踊っていました。午前・午後と2回実施しましたが、やはり子供たちに人気があります。ピョン太も大変な人気、さわる人、一緒に写真を撮る人などでごったがえしでした。楽しい一日でした。

名和 全孝 (Zenkou Nawa)

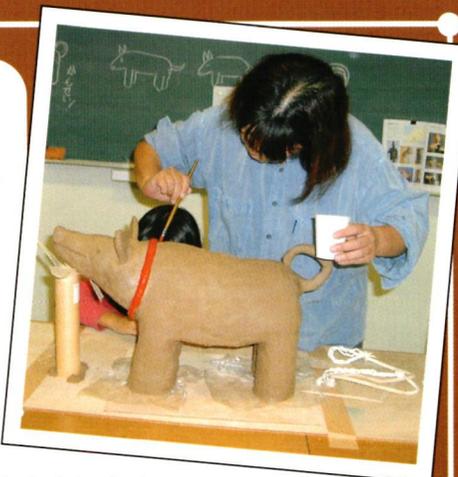


2年目を迎えた「動物はにわ」作りですが、今年は10月の9・10日と2日間かけて製作しました。昨年は「ウマ」を作り、今年は「ニワトリ」「イヌ」に挑戦です。昨年の体験者も含めて全部で5家族が参加しました。お子さんの中には、粘土の塊から形を作るのだと思っている方もいましたが、「はにわ」は粘土をひも状にして下から積み上げていく製法であることを知って、はじめは難しそうでした。中が空洞でないとはよく焼けないこと、一定の温度で焼かないと割れてしまうので、丸い穴はそのためにあけること、はにわの目がなぜあけてあるかなど、疑問が解けたようです。個人用の小型はにわのほかに、高さ70cmのニワトリや体長60cmのイヌもみんなで作りました。

千葉県は「はにわ」の宝庫ですし、家畜などの動物はにわもたくさん出土します。当園は「家畜の原種ゾーン」もありますし、子ども動物園では多くの家畜種がご覧になれます。人と深い関係を持ち続けている家畜たちについて、古代の人がどのように感じていたのか、それをはにわ作りを通じて少し考えてみることもおもしろいと思います。新年には焼きあがった「はにわ」が動物科学館に展示される予定です。

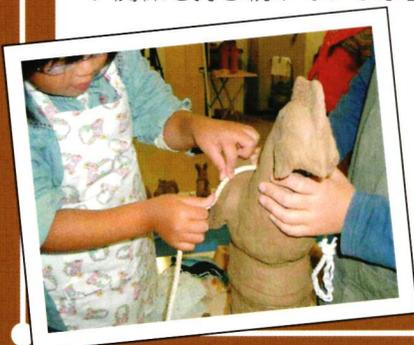
焼成には千葉市立みつわ台中学校のご協力をいただきました。ありがとうございました。

並木 美砂子 (Misako Namiki)



2年目を迎えました!

動物はにわ作り





動物公園の植物…②7

The plants in the Zoological park

ムクゲ【木槿】

(HIBISCUS SYRIACUS)



ムクゲはフヨウ属アオイ科の落葉低木です。動物公園では数箇所に点在し少数しか植えてありませんが、現在では高さ3mと立派に育っています。

花の時期が長く7月～10月まで咲き、花は紅色、紫紅色、白色のものに一重、八重とあり、弁元が赤くなるよう品種改良されたものもあります。

植え込み地は日当たりが良く排水の良い所を好みますが半日陰でも耐え、2月～3月に植え込みます。

きめの細かい葉が密生し、明るい緑色の柔らかい優しい樹勢となり、又、萌芽力ほうがりよくがあり刈り込みに耐えます。秋には部分的に黄葉し、青葉と混色して秋の演出に一役かっています。

夏を代表する花木で、ほぼ全国に植えられていて、公園樹、庭園樹、生垣、鉢植え、切花などに用いられています。猛暑によく花を付け、見た目はハイビスカスの花に似ています。

日本の花の木はサクラですが、ムクゲはお隣り韓国の花の木です。

可憐で可愛い花を付けることと、とても扱いやすい木ですので、皆様の庭に一本いかがでしょうか。

染谷 正仁 (Masahito Someya)



飼育よもやま話

シタツンガ

草原ゾーンのダチョウの山に、シタツンガという偶蹄目ウシ科の動物がいます。

このシタツンガはアフリカ中部（スーダン・カメルーン・コンゴなど）の湿地や沼地周辺に生息しています。体には白い斑紋はんてんと縞しまがあり、長く広がったひづめが体重を分散し、沼の中を沈まずに歩くことができます。雄には角がありますが、雌には角がありません。

当園では平成16年より雌1頭を飼育展示していましたが、今年の春から雄1頭が加わりました。雌1頭のときは少し落ち着かないようでしたが、雄1頭が加わるにより大分落ち着くようになり、夏の間は仲良く池の中に入っている姿が頻繁に観察できました。雄雌ともに2歳の若い個体で、まだ成長過程の途中です。

この2頭のうち、雌はたいへん臆病で、人が近づくとすぐに逃げてしまいます。これが普通なのですが、雄は最初からよく馴れており、飼育係の指を舐める程で、人をまったく恐がることはありません。飼育下の動物ですからある程度馴れているのは当然ですが、それは動物の方で安心できる適当な距離を保つての場合です。人工保育ではない個体がここまで馴れているのはたいへん稀なことです。

この2頭は性格も、来園した時期も、生まれた動物園も違うのですが、最初から仲良く、このままいけば1～2年のうちに二世誕生も確実ではないかと思えます。シタツンガは少し見つけづらいですが、ぜひ探してみてください。

中村 智行 (Tomoyuki Nakamura)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'05年7月1日~'05年9月30日

- 7月1日 ダチョウ、産卵
オニオオハシ、検疫明け
- 7月4日 パタスザル(雌)、鹿児島県平川動物公園へ搬出
レッサーパンダ(雌:ハナ)、老衰のため死亡
- 7月7日 シバヤギ、繁殖
セキショクヤケイ、産卵
幕張中学校(4名)、職場体験研修
- 7月9日 ダチョウ、産卵
アジアゾウ(雄)、右側頭腺にじむ 扉へのアタック多い
- 7月12日 ダチョウ、産卵
- 7月13日 ブラッサグェノン(雄)、鹿児島県平川動物公園より新着
- 7月14日 ミーアキャット(雄)、死亡
- 7月15日 シロガオマーモセット、繁殖(2頭)
フンボルトペンギン(雛)、死亡
- 7月22日 ハシビロコウ(2羽)、新着
- 7月23日 学芸員実習生(8月2日まで)
- 7月24日 社会教育実習生(8月6日まで)
- 7月26日 ルリコノハドリ、産卵
- 7月27日 サマースクール開催(7月29日まで)



- 7月29日 ヘビクイワシ、産卵
トナカイ(雌)、死亡
- 8月1日 獣医実習生(8月11日まで)
- 8月4日 オグロマーモセット、繁殖
- 8月6日 学芸員実習生(8月16日まで)
- 8月15日 千葉県総合教育センター事業による教員の実習受入れ(8月17日まで)
- 8月16日 獣医実習生(8月26日まで)
ハシビロウコウ、検疫明け
- 8月18日 ハシビロコウ、新着個体同士を一緒に放飼するが争うため分ける
- 8月19日 シバヤギ、繁殖
- 8月20日 エンペラータマリン(2頭)、繁殖
連続講座開催
- 8月23日 花見川第一中学校(5名)、職場体験研修(8月25日まで)
- 8月27日 Zooキッズデー開催
- 8月28日 ブラッサグェノン(雄)、搬出のため捕獲
- 8月29日 ブラッサグェノン(雄)、豊橋総合動植物公園へ搬出
- 9月2日 飼育実習生(9月16日まで)

- 9月7日 みつわ台南小学校3年生(30名)、飼育裏側探検
- 9月11日 ワンポイントウォッチング(ホンダザル)



- 9月13日 オオカンガルー(仔:1頭)、袋より顔を出す
ミーアキャット(雄:1頭)、新着
- 9月14日 アジアゾウ(雌)、イベントの予行演習のためウサギの着ぐるみを着た職員に餌を与えてもらう
有吉中学校(17名)、職場体験研修(9月15日まで)
- 9月17日 エンペラータマリン(仔)、親から離れて歩く
連続講座開催
- 9月18日 JEF千葉のキャラクターによる1日園長、1日飼育係実施
- 9月21日 ワタボウシパンシェ(2頭)、繁殖
- 9月24日 ワンポイントウォッチング(ヒロハシサギ)
- 9月25日 折り紙教室開催



- 9月26日 クロミミマーモセット(4頭)、シロガオマーモセット(2頭)、個体識別用のマイクロチップ埋め込み
- 9月27日 アカハナグマ(雄)、雌と親の群れから離す
- 9月28日 松ヶ丘中学校(8名)、職場体験研修(9月30日まで)
浅野 洋之(Hiroyuki Asano)

編集後記

今年も残り少なくなってきましたね。当動物公園も今年にはレッサーパンダの「風太」君人気で大勢の来園者がみえました。秋になり「風太」も元気を取り戻し、あいきょうをふりまいています。「風太」も急に騒がれたので、今年は疲れたでしょう。

また、ハシビロコウという珍しい鳥もいますので、ぜひご覧に来て下さい。一同お待ちしております。

次回の発行予定は平成18年3月1日です。

なお、年末は28日(水)まで、年始は2日(月)から開園しております。

名和 全孝(Zenkou Nawa)



ベニイロフラミンゴ



Information

平成17年12月・平成18年1月・2月・3月の
催し物一覧

- ★ 12月17日㊦ 紙芝居会
- ★ 12月18日㊦ クリスマスシアター
- ★ 1月2日㊦・3日㊦ お年玉プレゼント
- ★ 1月8日㊦ バードウォッチング
- ★ 2月19日㊦ 紙芝居会
- ★ 3月12日㊦ ワンポイントウォッチング(ムフロン)

どうぶつこうえんニュース第58号
平成17年12月1日発行

編集
発行

千葉市動物公園・財千葉市動物公園協会 [総合案内] ☎ 043-252-1111
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-City Japan.